

Suhr SE100

プラグインマニュアル



Developed by Brainworx Audio in partnership with JS Technologies
and Distributed by Universal Audio.





John Suhr自身がSE-100の設計を行う由来について述べています。

“SE-100は、91年に私がLAに引っ越した際に作ったハイゲインモデルです。Lukather、Henderson、Landau、EVH（アルバム“F.U.C.K.”）らによってオリジナルのCAA 3+プリアンプを使用された後、それを少しスムーズ、そしてよりゲインを上げるアップデートを行うことにしました。”

SE modは、Reb BeachやDoug AldrichがWhitesnakeやDio在籍時に使用したMarshallがあり、Marshallののキャラクターを失わずに多くのスムーズなゲインを得られるようになります。”

すべてのSE100 Hand Wiredは、細心の注意を払って手作りされており、以下のような特長や機能を提供します。:4つのゲインステージ、plexiスタイルの出力トランス。ハイゲイン中毒のギタリストのためにこのアンプはゲインノブを回すだけでマッシブなブリティッシュクランチ、胸が熱くなるハイゲイン、そしてハッキリとした輪郭を持ち、唸るようなドロップチューニングトーンを提供します！

BrainworxはSE100をApolloのために入念にモデリングしました。このプラグインは、Universal AudioのUnisonテクノロジーを最大限に活用して、リアルなプレイアビリティと 本物のチューブハードウェアのレスポンスを実現しています。SE100を使用してニアゼロレイテンシーでライブ演奏や、またはレコーディング後にパーフェクトなトーンに調整することが可能です。

このプラグインは、SE100のハート&ソウルを再現するだけでなく、これまでのBrainworxプロダクトにも搭載されていた拡張機能も使用することが可能です。ホストシンク可能なLo-Fiディレイ、ノイズゲート、タイト&スムーズフィルター、パワーソークやパワーアンプバイパスを備えたFXラックが用意されています。





Suhr SE100

プラグインマニュアル



これに加え、Brainworxのスタジオでは、ブティックキャビネット、ハイエンドのマイクロフォン、Neve VXSコンソールを使用して作成された120種類以上のインパルスレスポンスがあります。

主な機能

- オリジナルのSuhr SE100チューブギターアンプのエミュレーション
- John SuhrとDoug Aldrich公認のプラグイン
- SE100 Hand Wiredには、SE3+以降にSuhrが求めたプリアンプMODと入念に調整された '68 plexi出力パワーセクションと組み合わせることで、様々なクラシック、またはモダンなハイゲイン・オーバードライブトーンと100Wのパワーを提供しています。
- 120種類のBrainworxが作成したインパルスレスポンス
- FXラックには、ホストシンク可能なLo-Fiディレイ、ノイズゲート、タイト&スムース・フィルター、パワーソーク、プリアンプ&パワーアンプ・バイパスを搭載
- Apolloインターフェイス用のUnison™ テクノロジー

Unisonテクノロジー



The Suhr SE100プラグインは、Apolloシリーズのインターフェイスで使用されることを念頭に開発され、Unisonプリアンプテクノロジーに対応しています。Suhr SE100は、どのUAD-2デバイスでも使用できますが、重要なインピーダンス、リアルなアンプのスウィートスポット、サーキットの挙動などを超低レイテンシーで使用するには、Apolloインターフェイスを必要とします。これを実現するには、ApolloのConsoleアプリケーション内のプリアンプインサートにSuhr SE100をインサートする必要があります。この方法により、サウンドのトーン全体や、動作などがオリジナルのハードウェアを正確に再現することができます。



Suhr SE100

プラグインマニュアル



アンプ

1 プレゼンス

トーンに与える高域の量を調整します。時計回りに回すと、高域の輝きが増します。

2 ベース

低域の量を調整します。時計回りに回すとボトムエンドが増え、リッチなトーンになり、反時計回りに回すとボトムエンドが減少し、音量を上げやすくなります。

3 ミドル

ミッドレンジを調整します。時計回りに回すと中域の量が増えます。反時計回りに回すと中域が減少し、ミッドスクープ・サウンドになります。

4 トレブル

トレブルを調整します。時計回りに回すと高域の量が増え、トーンが明るくなります。反時計回りに回すと丸い音になり、JAZZなどに適したサウンドになります。

5 レベル

チャンネル1全体の出力(マスターボリューム)を調整します。

6 ゲイン

チャンネル全体のゲインを調整します。

7 デプス

SE-100パワーセクションに加えられているローエンドのブーストコントロールです。これによりボトムエンドの輪郭をはっきりさせることができます。



Suhr SE100

プラグインマニュアル



FXラック

ノイズゲート

1 クローズド

このLED が点灯しているときは、ノイズゲートが閉じていることを示します。これは、スレッシュホールド値よりもギターのシグナルが低くなり、ノイズゲートが、レンジコントロールで調節した値の分、アンプのアウトプットシグナルを減衰させます。(上図では38dB)

2 ノイズゲート・オン/オフ

ノイズゲートのオン/オフを切替えます。スイッチが上向き(“ON”)でノイズゲートがオンになります。

3 スレッシュホールド

連続可変ノブ、-120db ~ 0db。ノイズゲートは、ギターからのシグナルが一定のレベルを下回るとアンプのアウトプット・シグナルを減衰させます。このレベルのことを“スレッシュホールド”と言います。オーバードライブしたアンプのノイズが削減されるようにスレッシュホールドを調整しますが、ギターそのもののサウンドに影響が無いように調整してください。

4 レンジ

連続可変ノブ、0db ~ 100db。インプットシグナルがスレッシュホールドを下回った場合、アンプのアウトプットレベルを減衰、またはミュートします。その減衰値をコントロールします。最大値ではアウトプットをミュートすることができます。





Suhr SE100

プラグインマニュアル



アンプフィルター

1 タイツフィルター

3ポジションスイッチ: プリ、ポスト、オフ。タイツフィルターを使用すると、DIギター・シグナル(PRE)、またはプロセッシングしたアンプのサウンド(POST)、いずれかの低域をカットすることができます。

- **Pre:** ギターのピックアップからのサウンドで低域がもたつく場合、アンプに入力する前にローエンドをフィルタリングすることができます。
- **Post:** アンプ・セッティングで発生したローエンドをカットしたい場合、このスタジオ・クオリティのハイパスフィルターを使用して低域を抑えることができます。
- **Off:** タイツフィルターをバイパスします。

2 タイツフリーケンシー

タイツフィルターを使用してDIギター信号(Pre)、または処理されたアンプ出力(Post)でカットする低域周波数を設定することができます。

3 スムースフリーケンシー

タイツフィルターを使用すると、DIギター・シグナル(PRE)、またはプロセッシングしたアンプのサウンド(POST)、いずれかの高域をカットすることができます。

4 スムースフィルター

3ポジションスイッチ: プリ、ポスト、オフ。スムースフィルターを使用すると、DIギター・シグナル(PRE)、またはプロセッシングしたアンプのサウンド(POST)、いずれかの高域をカットすることができます。

- **Pre:** ギターのピックアップからのサウンドでヒスやノイズが多く感じる場合、アンプに入力する前にハイエンドをフィルタリングすることができます。
- **Post:** アンプ・セッティングで発生したハイエンドをカットしたい場合、このスタジオ・クオリティのローパスフィルターを使用して低域を抑えることができます。
- **Off:** スムースフィルターをバイパスします。



Suhr SE100

プラグインマニュアル



ディレイ

ビンテージのストンプボックス・ディレイをモデリングし、限られた周波数帯域、リピートの高域減衰等、その代表的なサウンドを再現しました。その後、ミックスコントロールや DAW コントロールの BPM ベースのテンポシンク等の現代的な機能も追加しました。もちろん、自分のギター・サウンドを出すためにコーラス、フランジャー、リバーブや、他のディレイのような外部のエフェクトも使うことができますが、我々のディレイによって素晴らしいサウンドが得られるプリセットがあることを試して頂きたいと願っています。ディレイのタッチを聞かずにリード/ソロのサウンドをテストすることは多くのプレーヤーにとって現実的はないと考え、このエフェクトを加えました。我々は、このビンテージ・ディレイのサウンドが本当に気に入っています。

1 ディレイ オン/オフ

ディレイエフェクトとそのパラメーターのオン/オフを切り替えるために使用します。

- スイッチが上向き:ディレイはオン
- スイッチが下向き:ディレイはバイパス(オフ)

2 タップ*

マウスでTAP ボタンを曲に合わせてリズムカルにクリックすることで、ディレイタイムを調整することができます。DAW や BPM ベースのテンポに合わせてプレーしなくても、ディレイのテンポをギターのリフに合わせることができます。テンポが一定していない曲を演奏する際に便利です。

3 タイム

タイムノブを使用してミリ秒単位でディレイタイムを調整することができます。調整可能なディレイタイムは、15ms ~ 1000msまでです。

4 x2*

このボタンによってディレイタイムの2倍に設定することができます。

5 /2*

このボタンによってディレイタイムの半分に設定することができます。

x2 & /2ボタン

400msの最大ディレイタイムを超えない範囲で両方のボタンを繰り返し使用することができます。

* 注:カスタムコントロール:オートメーション非対応





Suhr SE100

プラグインマニュアル



1 ホストBPM

GUI上でBPMナンバーをクリックするとプルダウンメニューが開き、二分音符、四分音符など音符の値でディレイタイムを接っていることができます。すべての値はBPMウィンドウに表示されているテンポを元に計算されます。テンポはオーディオセッションのテンポと自動的に同期します。

2 ミックス

必要に応じて、ドライのアンプサウンドとディレイタイムを調整する MIX コントロールを使用してください。控え目なディレイの場合、約10%程度、濃いディレイを必要とする場合は、50%以上の設定が必要な場合があります。

3 フィードバック

ディレイ音を繰り返す回数をコントロールします。99%の設定は、ほぼ無限のディレイループとなります。ロックのリードサウンドでの一般的な設定では25%前後であると言えます。

4 Lo-Fi

LO-FI ノブを右に回すとディレイのフィードバック・シグナルの音質を下げる効果をもたらします。これはフィードバック・シグナルをローパスフィルタリングと、歪みを与えます。しかし、多くの場合、ギター的なサウンドやスタイルと与えることができます。

レコーディングチェーン

BrainworxアドバンスIRテクノロジー

シンプルに“REC CHAIN”プルダウンメニューをブラウジングしてスピーカーと完璧なスタジオセットアップを選択してください。

Brainworx のオーナーDirk Ulrich は、過去20年の間にDREAM THEATER、TOTO、MICHAEL JACKSON 等をはじめとする多くのアーティストとプロデューサーやレコーディングを行ってきました。ドイツのBrainworx Studio (www.brainworx-studio.de) では、これまでに9台しか製作されなかったNEVE VXS 72 コンソールの1台と最高級のアウトボード EQ やマイクプリアンプを所有しています。





Suhr SE100

プラグインマニュアル



この素晴らしいセットアップを使用して、Suhr PT100アンプに使用するためにカスタマイズした膨大な“レコーディングチェーン”を作成し、それをプラグイン・アンプの設定に使用することができます。100種類もの完璧なマイキングやEQされたギターキャビネット等を1回のマウスクリックで簡単に使用することができます。

使用したキャビネットに最大12本のマイクを慎重にセッティングし、これらのマイクをビンテージのNeve VXSコンソールのそれぞれのチャンネルに接続しました。これにより、使用したマイクのミックスやNeveフィルターとEQによるきめ細やかなコントロールが可能となりました。そして、最終的なミックスはPro Toolsにルーティングされ、レコーディングしました。

様々なプリアンプやEQチェーンをキャプチャーするために画期的な方法が使用されました。3種類の異なるハードウェアプリアンプと、EQにスプリットされた並列のチェーンを作成し、Neve VXSコンソールの個別のチャンネルにルーティングされ、Pro Toolsに送られてキャプチャーを行う方法を使用しました。このルーティングにより、各チェーンを個別にレコーディングしたり、それらを組み合わせて使用することも可能となりました。

多くのアンプシミュレーターは、キャビネットとマイクの選択によっては違和感を与える場合があります。そしてこれらの不完全な設定はEQや、プロセッシングによってユーザーが補完します。異なるマイクセットアップのミックス、フェイズの調整、やEQなど…しかし、これらは簡単な調整ではありません。これらを正しく設定するには長年の経験が必要となります。

調整する必要があるのは、トーンやゲインで、アンプのチャンネルとセッティングに最高のサウンドを得られる REC CHAIN を選択しプレーするだけです。それはリコールでき、信頼があり、フレキシブルかつ即座に対応することができます。

レコーディングチェーンにお気に入りが見つけられなかった場合、最後のセッティングとして独自のマイキングをしたキャビネットを使用することができます (EMPTY PLAY VIA REAL CAB とラベリングされている)。このセッティングでは、Consoleに1台のチューブアンプのみの音を接続することになります。このサウンドがより良い効果を得る場合もあります。

1+ / - スイッチ (プラス/マイナス)

REC CHAINS テキストボックスのプルダウンメニューを使用するか、“+/-”記号をクリックしてREC CHAIN をブラウジングすることができます。



Suhr SE100

プラグインマニュアル



1 Auto & Barセクション

使用する曲に最高にマッチするレコーディングチェーンを探す場合、マウスでレコーディングチェーンを選び、いくつかフレーズ弾いた後にまた次のレコーディングチェーンを探すためにマウスを使うという煩わしい操作をしなければなりません。

SE100 は、そんな煩わしい作業をしなくていいようにオートモードを提供しています。: パターン(1、2または4小節)を選択するとプラグインは DAW のテンポにシンクし、レコーディングチェーンのオートメーションを使用できるようになります。このようにして演奏を中断することなく、いくつかのレコーディングチェーンの音を1、2、4小節ごとに自動的に切替え、試すことができます。スピーカーセットアップで聴きながらちょうど良いレコーディングチェーンが見つかったら、もう一度 AUTO ボタンを押し、オートモードを停止し、必要なレコーディングチェーンを選択してトーンやゲインを調整して音作りを進めてください。

2 RCインフォ

RCインフォ機能は、選択したレコーディングチェーンを作成するためにどのような設定が使用されたかを表示します。

3 インプットゲイン

Suhr PT100 プリアンプを強くドライブさせたい場合に、お好みに合わせてインプットゲインを調整することができます。ビンテージギターのシングルコイル・ピックアップの中には、インプットゲインの補正が必要な低レベルのアウトプットの物があります。

ヘビーメタルスタイルのハイゲインのハムバッカーの場合は反対です。DI シグナルが過剰な場合や、Suhr PT100アンププラグインにインプットする前に他のプラグインを使用している場合は、インプットシグナルを下げたくなるかもしれません。

標準的なギターを使用する場合、インプットゲインを“0”から始めることを推奨します。

4 バイパス・プリアンプ

プリアンプ・セクションをバイパスします。

バイパスプリ・スイッチを使用すると、Suhr SE100のプリアンプを完全にオフにすることができます。これは、その他のハードウェア・ギタープリアンプを使用し、PT100を介してレコーディングする場合に便利です。この場合でも内蔵のパワーアンプとスピーカー/レコーディングチェーンのシミュレーションを使用することができ、外部パワーアンプやスピーカーを使わずにギターサウンドのレコーディングを行うことができます。

スイッチが上向き: プリアンプはバイパス(オフ)、スイッチが下向き: プリアンプはオン



Suhr SE100

プラグインマニュアル



1 バイパス・パワーアンプ

Suhr SE100プリアンプの歪みだけを使用したい場合は、パワーアンプシミュレーションをオフに切り替えて使用可能です。ギター以外の音色にSE100プラグインを使用することも良いアイデアです。モダンなギターサウンドをレコーディングするには、アンプ全体のサウンドに不可欠であるパワーアンプをオンにしたまま使用することを推奨します。

2 パワーソーク

アウトプットボリュームをコントロールします。

ハードウェアの世界では、パワーソークはギターパワーアンプのボリュームを下げるために使用されています。この方法でパワーアンプの出力を上げ、クリッピングが始まるまでドライブさせても聴覚を保護し、隣人に迷惑をかけずに済むボリュームを保つことができます。チューブがクリッピングしたパワーアンプは、ギターサウンドに歪みやハーモニクスを加えます。完全にクラックアップされたパワーアンプは、パワーソークで音量が変化し、マスターボリュームを下げた場合とは異なったサウンドが得られます。SE100のチューブパワーアンプの動作を正確にモデリングしているので、アンプのマスターとパワーソークの異なるサウンドをお楽しみいただけます。標準的な設定は、約 -10dBから始めることをお勧めします。

レコーディングチェーンに使用したキャビネット

Suhr PT 2x12

Suhr PT 2x12スピーカー、クローズドバックキャビネットには、2台のCelestion G12H75 Creambackスピーカーが搭載されています。

Suhr 4x12

Suhrカスタムメイドの4x12“ スピーカーキャビネット(ストレート)に4基のVintage 30スピーカーを搭載しています。

American 4x12

Mesa Boogie Rectifier® 4fb 280W 4x12 Vintage 30

STANDARD Rectifier® 4x12は、オーバーサイズの4x12キャビネットで、唸るようなローエンドにパンチやレゾナンスを提供します。スムーズなミッドレンジとはっきりとしたハイエンドに調整され、もっとも人気のある4x12キャビネットと言え、ヘビーなサウンドのアイコンとなっています。

Suhr SE100

プラグインマニュアル



English 4x12

Marshall 1960TV Lead 100W 4x12 Greenback G12M-25

1960TVには、Celestion® G12M-25 Greenbackスピーカーが搭載されており、これは、1960A™で使用されている75 WのCelestionsよりも余裕があり、25 WのGreenbacksは、よりウォームでサチュレーションが得られます。この100Wのモノラルキャビネットは、1960Aや1960B™よりも65mm高さがあり、ミッドレンジのレゾナンスレスポンスが低くなります。

往年のクラシックな外観と色調を再現するために、Marshallは、1960TVを提供しています。1960TVの4基のMarshall/Celestionによるハウジングは、25wのGreenbackスピーカーを再現するように設計されており、60年代後半のECフレットクロスとよりスムーズなエバントクロス・カバーで仕上げられています。Marshall 1960TVは、スタンダードな4 x 12“インチよりも4インチ高く作られており、TVの名称は“Tall”、“Vintage”の頭文字から付けられています。

Friedman Vintage 4x12

Friedman 412 ビンテージキャビネット、クローズドバック110W – 2x12“ Celestion Vintage 30（ボトム） / 2x12“ Celestion Greenback G12M-25（トップ）

Friedman Vintage 4×12キャビネットは、4×12”のクローズドバック・スピーカーキャビネット、バルチックバーチ構造を採用し、低域と中域のレスポンスを向上させ、Friedmanキャビネットから期待通りのサウンドが得られます。ビンテージのソルト&ペッパーグリルは、往年のブリティッシュアンプを連想させます。

キャビネットの中心には、Celestion G12M-65 Greenback 16Ωスピーカーが取り付けられています。G12M Greenbackは、何十年にも渡って進化をしてきましたが、依然として必要不可欠なサウンドを評価されています。このモデルは、幅広いミッドレンジのアタックと控えめなトップエンドで響き渡り、Fuzzを使用せずとも和音と鋭いリードトーンを得意としていて、Friedmanのハイパワーロックヘッドに最適です。モダンなハイゲインアンプでのドライブサウンドに理想的なスピーカーです。

下の2つのスロットには、2基のCelestion Vintage 30スピーカーが搭載されています。V30のサウンドは 様々なプレーヤーに使用され、何千ものレコーディングで使用されています。それは非常に繊細で複雑なハーモニクス、ウォームなローエンド、豊かなミッドレンジ、そして美しいトップエンドから成り立ちます。



Suhr SE100

プラグインマニュアル



このキャビネットは、素早く複雑なVintage 30のクランチを提供し、ハンドワイアードのブティックアンプのサウンドを引き出します。

複数のスピーカーとの組み合わせによってGreenbacksのウォームなサウンドとV30の力強さを提供しFriedmanの100Wヘッドに最適なマッチングと言えます。他のすべてのFriedman製キャビネットと同様に特大のスピーカーワイヤによってスピーカーとターミナルをはんだ付けしています。BE 4x12は米国内でハンドクラフトされており、ツアーのような過酷な使用条件にも耐えるように設計されています。

FEITEN 4x12

Feiten Vintageは、2x12“ Warehouse ET65スピーカーを搭載したクローズドバックスピーカーです。

ORANGE 4x12

Orange® PPC 212 クローズドバック 120W – 2x12 Celestion Vintage 30 スピーカー

120WのOrange Amplifiers PPC212-Cギタースピーカーは、多くのパワープロジェクション・キャビネット(PPC)のように13プライの高密度18mmバーチ合板を使用して作られています。Orange amplifiersのスピーカーエンクロージャーは、非常に頑丈な構造を保証する製造技術で制作されています。Orangeのユニークな“スキッド”デザインは、このキャビネットをよりステージに合うように、よりタイトなベースレスポンスとフルレンジの密度を提供します。すべてのOrange Amplifiersのスピーカーエンクロージャーには、Celestion Vintage 30スピーカーと快適なフラッシュキャビネット・ハンドルが装備されています。Celestion Vintage 30スピーカーはオリジナルのCelestion Blueのサウンドと新しいコーンとコイルのアッセンブリーを採用しています。改善された性能: 定格60W、高出力時に発生する熱を効率的に処理、Vintage 30は大量のオーバードライブトーンを簡単に処理可能。これはクラシックな2x12ラウドスピーカーです。



Suhr SE100

プラグインマニュアル



トップツールバー

1 アンドゥ/リドゥ

SE100プラグインで変更したコントロールを、最大32ステップでいつでもアンドゥ/リドゥすることができます。セッティングを元に戻したくなった場合はいつでもアンドゥを使用することが可能です。

2 セッティング (A/B/C/D)

SE100アンププラグインは、各プリセットに4種類の内部セッティング (A/B/C/D) を保存することができます。各プリセットにつき、最高で4個のアンプとエフェクトセッティングのバリエーションを保存することができます。

ディレイの有無やことなるディレイタイムの設定などを記憶させ、サウンドにバリエーションを持たせることができます。また、1つのプリセット内で、クリーンからクランチに変更することも可能です。

DAWでオートメーション化することができます。この方法によって、クリーンなサウンドから粗いリードサウンドまで瞬時に切り替えることができます。

3 コピー / ペースト

同じサウンドのバリエーションを作る場合、何度も一から音作りをする必要はありません。セッティング A のバリエーションをディレイ無しにしてB に作ると仮定します。:

- セッティング A を選択し、コピーをクリックします。
- セッティング B を押してセッティング B に切替えます。
- ペーストをクリックすると A のセッティングを再現します。
- ディレイをバイパスしてください。これで完了です。

AとBを切替え、同じサウンドでディレイの有無によるバリエーションを聞くことができます。

4 FXラック

FXラックとスタンダードビューを切り替えます。

5 アバウトウィンドウ

プラグインの開発に関するインフォメーションを表示します。



Suhr SE100

プラグインマニュアル



ファクトリープリセット

SE100 アンププラグインには、多くのプリセットが用意されています。その多くはストラト、テレキャスター、レスポールのような暗しくなギターで動作するように作られています。すべてのファクトリープリセットは、A/B/C/D バリエーションを提供しています。試してみてください。

これにより、ブラウズすることができるファクトリーサウンドが4倍になり同様のアンプセッティングで異なるフィルターやディレイセッティングを適用するだけで印象の変わったサウンドになります。

これらのプリセットは、SE100プラグインから得られるトーンのいくつかを簡単に試すためのデモンストレーション的な要素を含んでいます。

オリジナルのサウンド&プリセットの作成

オリジナル・サウンドを作り始める時に調整するもっとも重要なパラメーターはドライブ、レコーディングチェーン、トーンスタック(ベース、ミドル、トレブル、プレゼンスなど)です。

- トーンスタックのコントロールを中央(12時)の位置に設定してください。
- 好きなだけ多くのレコーディングチェーンを再生し、ノブを変更する前に探しているサウンドに近いものを選んでください。
- サウンドに最適なレコーディングチェーンを見つけたらトーンスタックやドライブを調整してアンプのセッティングを微調整してください。
- ディレイを加えるか、またはサウンドのバリエーションに対してフィルターやノイズゲートなどを加えてみてください。
- そしてあとはプレーするのみ！

様々な設定を試すことは、クリエイティブな実験です。異なる音色やレコーディングチェーンの膨大な選択肢は、様々な音楽ジャンルで素晴らしいサウンドが得られることを確信しています。

SE100アンプと他のプラグイン(ダイナミクス、エフェクト、ルームシミュレーション)を組み合わせ、どんなプロダクションにも対応可能なギターサウンドを作ることができます。お楽しみください！



BRAINWORX

Plug in, Rock out! - www.brainworx.audio